

与条件

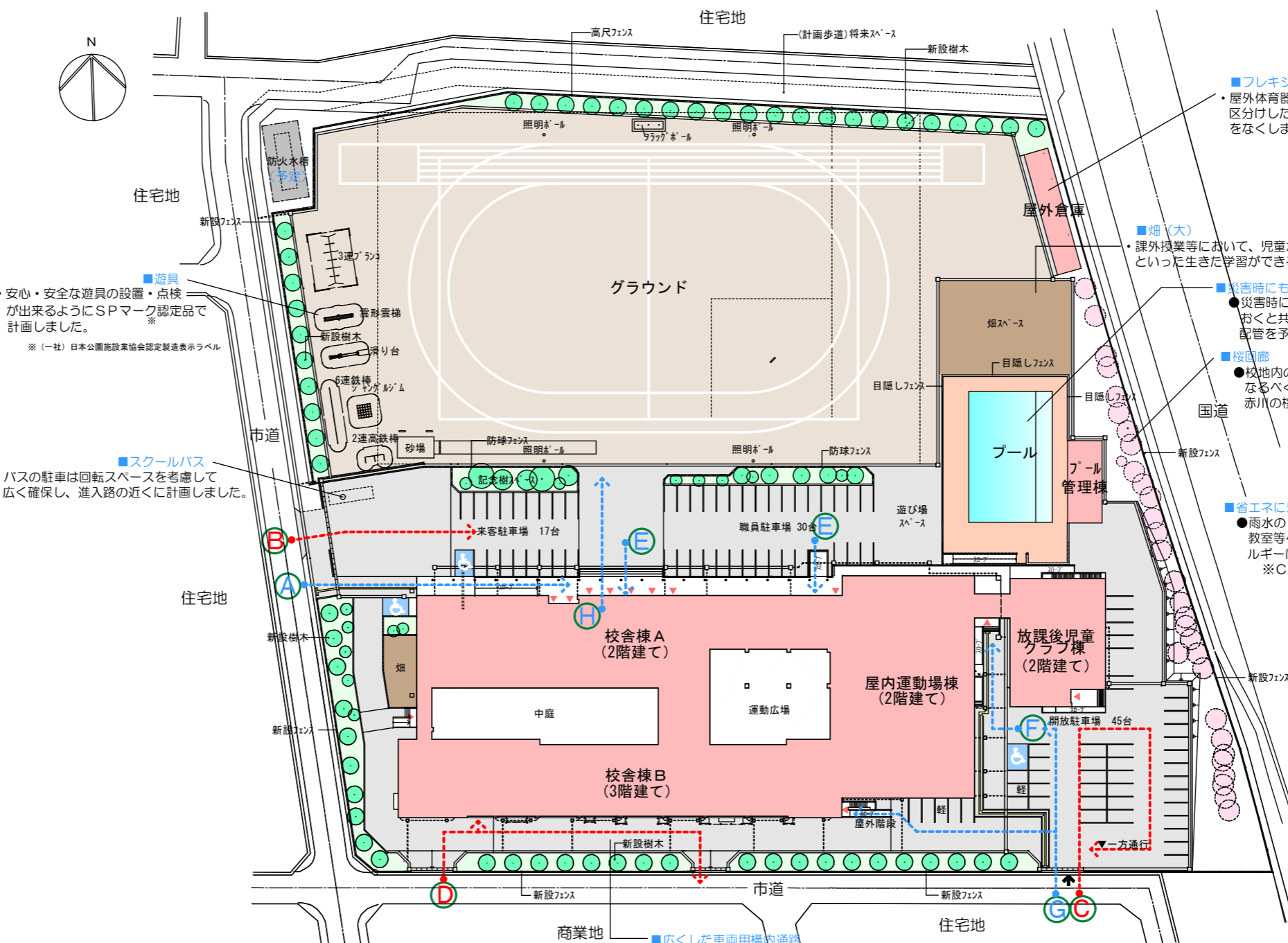
- 開校 令和6年度
- 児童数 ≒ 400人
- クラス数 12（各学年2クラス）1～6年
- 特別支援教室 4クラス（情緒・知的・肢体不自由・病弱）

■建築概要	
工事場所	鶴岡市切添町15番4号
工事期間（予定）	着工 令和4年10月 から 竣工 令和7年9月（外構・プール含む）
敷地面積	24,742.88 m ²
敷地条件	市街化区域、法22条区域、都市計画高度地区（15m） 第2種中高層住居専用地域（一部第2種住居専用地域）
階数	校舎棟A：2階 校舎棟B：3階 屋内運動場棟：2階 放課後児童クラブ棟：2階 プール管理棟：1階 屋外倉庫棟：1階
建築面積	校舎・屋内運動場棟：4,101.03m ² 放課後児童クラブ棟：430.14m ² 屋外倉庫棟：107.65m ² プール管理棟：98.54m ²
延べ床面積	校舎・屋内運動場棟：7,421.52m ² 放課後児童クラブ棟：853.16m ² 屋外倉庫棟：107.65m ² プール管理棟：98.54m ²
建物最高高さ	校舎・屋内運動場棟：12.60m（校）13.35m（屋） 放課後児童クラブ棟：9.40m 屋外倉庫棟：4.06m プール管理棟：4.83m

■構造概要	
種別	校舎・屋内運動場棟：鉄筋コンクリート造（耐火構造） ※一部屋内運動場棟屋根 鉄骨造 放課後児童クラブ棟：鉄筋コンクリート造（耐火構造） 屋外倉庫棟：木造（在来工法） プール管理棟：木造（在来工法）
耐震安全性の分類	構造体：Ⅱ類 建築非構造部材：A類 建築設備：乙類

■電気設備概要	
電源設備	引込 架空引込 2回線 6.6KV 変圧器 単相100KV×2、単相150KV×1、三相300KV×2、スコトラス50KVVA 計6台 発電機 軽油式45KVA程度（別途予定） 蓄電池 太陽光発電用蓄電池10KVA（別途予定）
光源種類	LED
監視制御	監視カメラ設置方式
電話	引込 架空引込 50φ×4 中継方式 端子盤（保安器入付） 内線容量 20回線

■防災設備概要	
発電機	設置なし
蓄電池	太陽光発電用蓄電池10KVA（別途予定）
非常用照明	屋内運動場に設置 電池内蔵形
（消防防火設備）	屋内消火栓設備 ビット水槽 消火器 ABC10型
（消防警報設備）	自動火災報知設備 GR型受信機 255 37'×2 非常放送 業務放送兼用型防災ホン+スピーカー
（消防避難設備）	誘導標識 校舎・屋内運動場棟 誘導灯 放課後児童クラブ棟




■空調設備概要		
熱源	エネルギー	電気
	装置	電気ヒートポンプエアコン
	総容量（概算）	407.7kw
空調方式	マルチパッケージ方式	
制御	個別制御・集中監視	
換気	個別方式（1種・3種併用）	
■給排水設備概要		
給水設備	水源	市水 直圧給水方式 一般系 雑用水：雨水利用
給湯設備	個別方式	瞬間型ガス給湯器+電気温水器
排水設備	屋内排水	分流式
	屋外排水	分流式
ガス設備	都市ガス	一般系（鶴岡ガス）
消火設備	屋内消火栓設備	地下ビット貯留

- 各動線リスト
- 児童の普通登下校時の動線
 - 来客者・職員車両動線（駐車動線）
 - 放課後児童クラブ保護者送迎車両動線
 - 給食搬出入・ゴミ収集車両動線
 - 災害時支援助物資受入作業動線
 - 一般開放出入口（屋内運動場棟玄関）までの動線
 - 災害時における感染症対策動線（一般開放エリア）
 - 校舎からグラウンドへの動線
- 歩行者動線
各車両動線

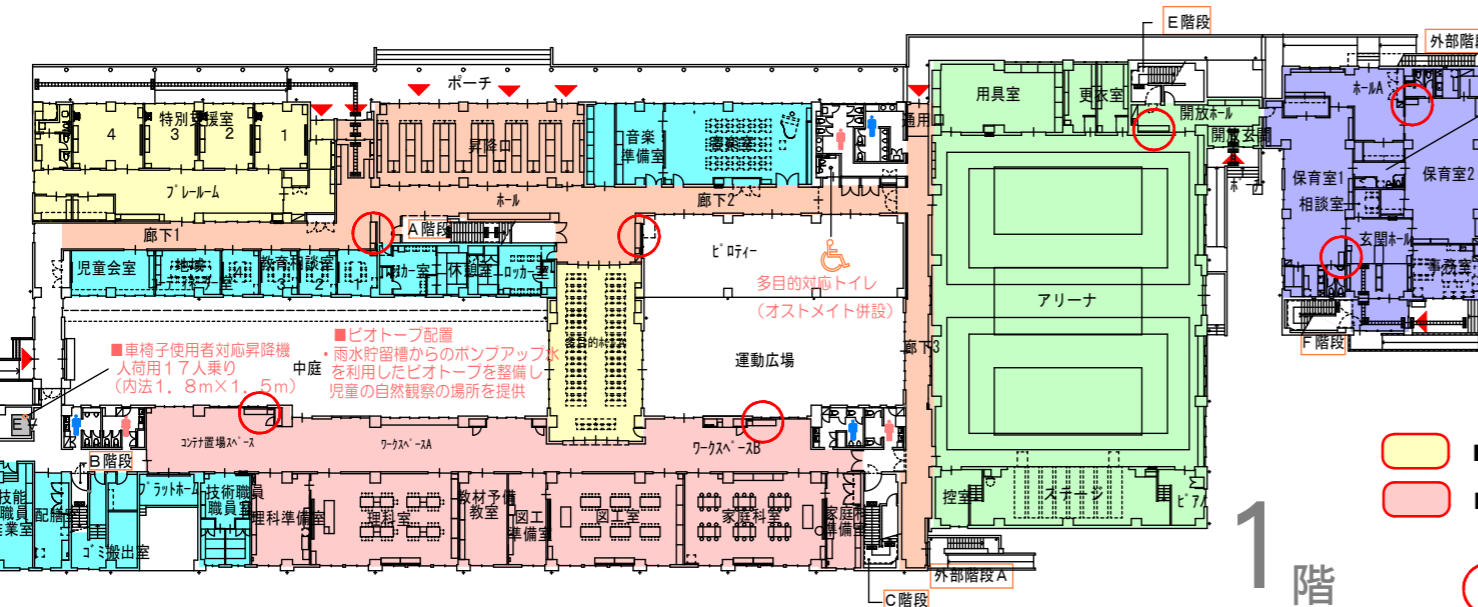
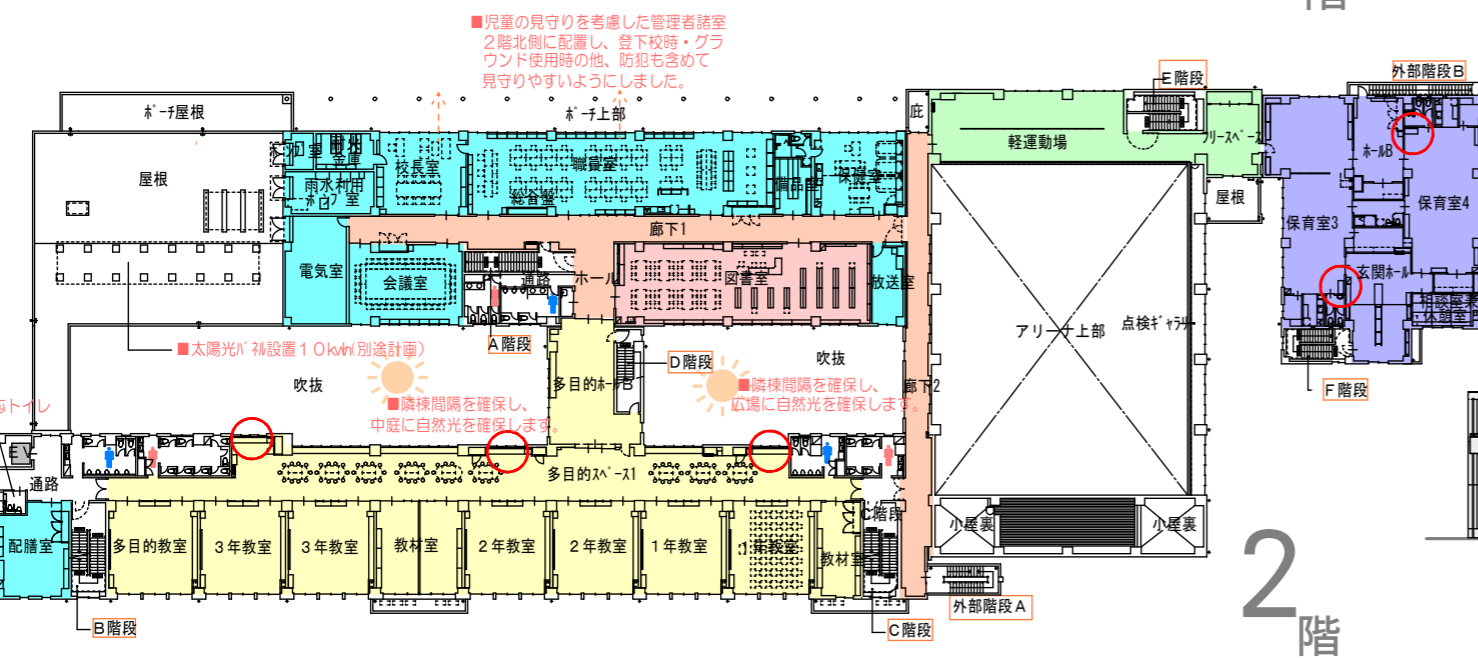
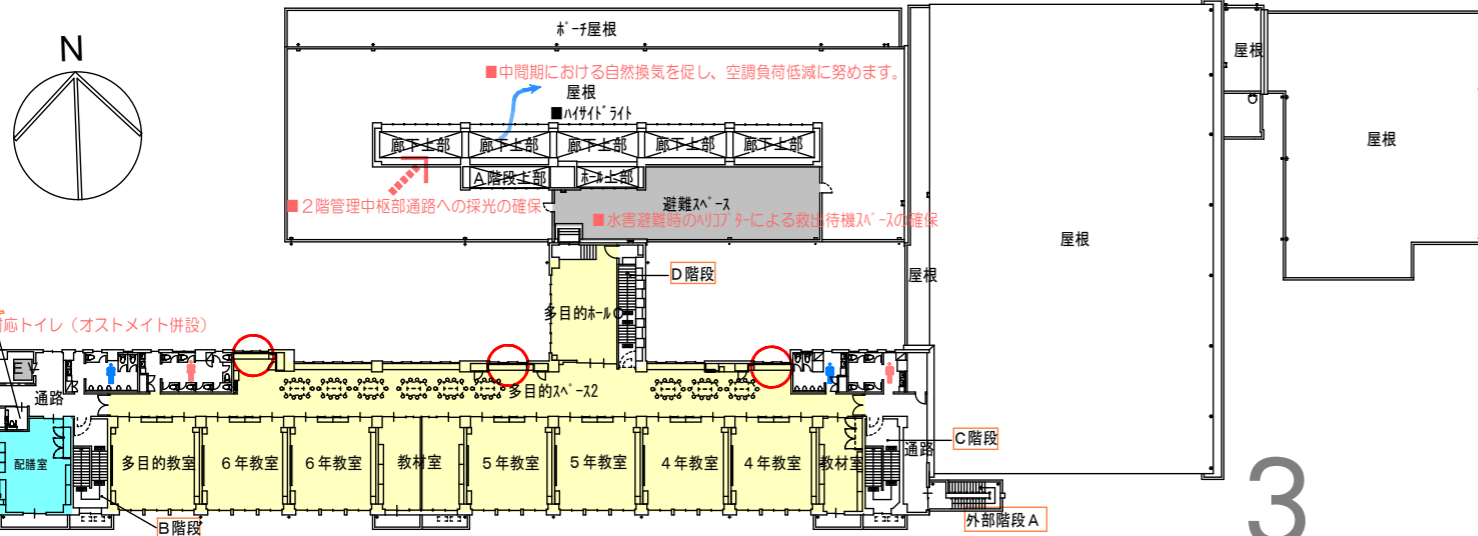
- フレキシブルに対応できる屋外倉庫
 - 屋外体育器具・防災用・屋外道具用・開放用途ごとに区分けた造りとし、不要な箇所の収納物への出入りをなくします。
- 畑（大）
 - 課外授業等において、児童が自ら植えて、世話をし、収穫を迎え、食するといった生きた学習ができるように大きめに計画しました。
- 災害時にも対応できるプール及び機械室
 - 災害時にはプールの水を仮設トイレ用水に出来るように配管して、おくと共に飲料水を確保できるように可搬式浄水器を接続できる配管を予め計画しました。
- 桜回廊
 - 校地内の既存樹木（桜）は、大事な思い出が詰まっており、なるべく保存又は移植としました。赤川の桜回廊の景観を意識して、歩調を合わせて計画しました。
- 省エネに対する取組
 - 雨水のトイレ洗浄水利用、太陽光発電蓄電池（別途工事）、教室等への熱交換機付き換気扇設置等により、省エネルギーに配慮した小学校として計画しました。
※CASBE自己評価Aランク

”沿革”

鶴岡市街の北部一帯を学区として、明治7年 大宝寺村に『移水小学校』として開設。
その後、
明治12年 東秀学校
明治20年 大宝寺学校
大正13年 鶴岡市政施行に伴い 鶴岡市 第五小学校
昭和22年 鶴岡市立朝陽第五小学校に改称
昭和41年 環境に恵まれた現地に移転。
平成26年 創立140周年
令和6年 先人たちが積み重ねてきた功績・記憶を受け継ぎつつ、学校が新しく生まれ変わります。

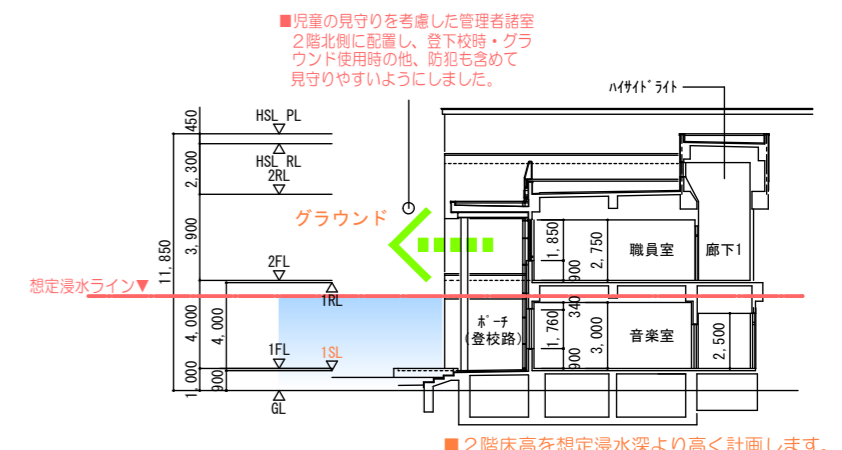
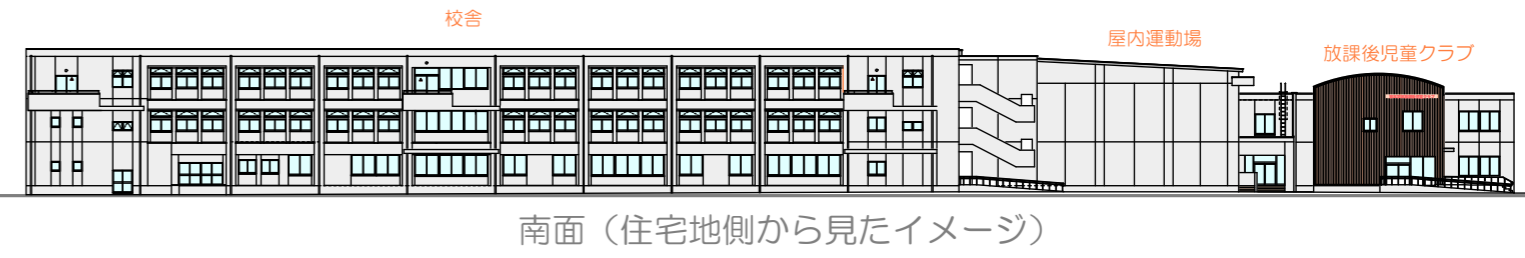
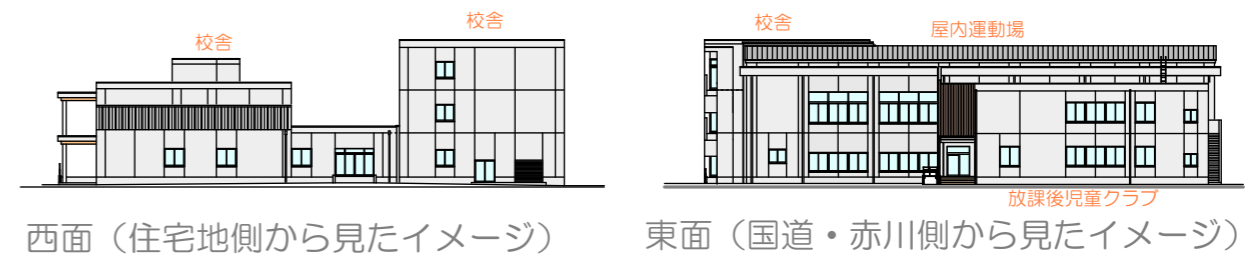
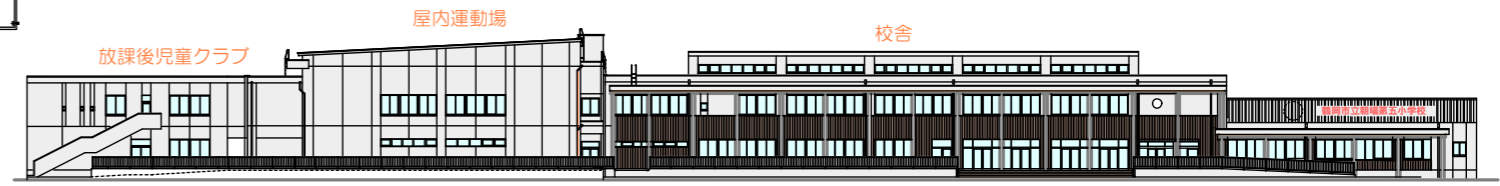


■校章



■ゾーニングの特徴

・児童・職員・来客のアプローチは敷地西面の市道沿いに配置し、昇降口・職員室・来客用玄関等管理ブロック配置を考慮し、校舎内への出入口を集約して安全管理に対応できるようにしました。普通教室は低（1～3年）、高（4～6年）学年ユニット別とし、廊下部分は学年集会ができるようなスペースを計画しました。屋内運動場等地域一般開放利用を想定する室については、一般開放玄関に集約しました。また、放課後児童クラブは学校との動線を切り離して、敷地南面からのアプローチとし、学校用駐車場玄関が混同しないように配置しました。



- 普通教室ブロック
- 特別教室ブロック
- 管理諸室ブロック
- 屋内運動場ブロック
- 展示・交流ブロック
- 放課後児童クラブブロック
- 手洗いスペース（トイレ専用除く）

■洪水時の高齢者等逃げ遅れを考慮し、施設上階に避難が容易にできるように計画しました。
※普段時は、不審者侵入防止のため、監視カメラ確認範囲となります。

■新型コロナウイルス予防の他、将来の未知なる感染症予防対策を意識した手洗いスペースの増設